

7. 関係機関・各団体の活動

7. 関係機関・各団体の活動

対策本部に派遣し、郡山市、郡山警察署、自衛隊、消防等との連携を図り、各種治安維持対策（詐欺被害防止の措置、仮設住宅、給油所、給水所等への立ち寄り及び避難による空き家、空き店舗への警戒等）に反映させました。

(3) 他県警応援派遣による犯罪防止及び検挙活動

全国警察一丸となった復旧・復興対策として、平成23年4月22日から平成24年2月10日までの間、1府8県延べ358名の他県警の応援派遣を受け、当署と連携した管内の警ら、避難所や仮設住宅への立ち寄りを強化しました。

応援派遣期間中、窃盗事件、建造物侵入事件、占有離脱物横領事件等の被疑者を検挙する等の成果を上げ、当署管内における震災復興につけ込む犯罪の予防・検挙さらには郡山市内における治安維持に貢献しました。



他県警からの応援派遣による警ら

5. 郡山市社会福祉協議会

(1) 郡山市社会福祉協議会事務局の活動状況

ア 大震災直後の安否確認の実施について

震災発生直後にただちに、各方部民生委員協議会の会長に災害時に援護を必要とする高齢者等に対するの安否確認をしてもらうよう協力を依頼し、民生委員が地域の方々のお宅を一軒一軒歩いて確認しました。

イ 生活復旧を支援する地域福祉活動について

地域の要支援者への生活復旧を支援する活動として、地域ごとに、地区社協・支部社協や方部民協、また、町内会や地域の関係団体が協力し、地域の高齢者や障がいがある人など支援が必要な人に屋内の片づけ・整理や給水などの活動を行いました。

ウ 災害ボランティアセンターの設置・運営

平成23年3月12日から開成山野球場内（郡山市災害対策本部の脇）に災害ボランティアセンターの現地窓口を設置し、ボランティアの登録受付を行い、災害ボランティアとして1,363名の登録がありました。

主な災害ボランティア活動の内容は、救援物資の仕分け、看護師等の有資格者による巡回健康チェック、避難所での避難者の生活支援などで、延べ1,901名（平成24年3月31日現在）が災害ボランティア活動を行いました。



ボランティアの受付(写真左) 救援物資の仕分け(写真右)

エ 生活福祉資金の特例貸付の実施（福島県社会福祉協議会の委託事業）

被災した世帯に対して生活のつなぎ資金として、緊急小口資金（特例貸付）の貸付を九州・沖縄ブロックの都道府県社協・市町村社協から延べ約60名の応援を得て行いました。

- ・期間：平成23年4月4日～4月28日の19日間
- ・貸付世帯数：6,710世帯
- ・貸付金額：9億5,100万円

(2) 郡山市社会福祉協議会ホームヘルプサービスセンターの活動状況

ア 避難所への炊き出し調理（開成山陸上競技場会議室にて）

- ・期間：平成23年3月11日～13日・19日～21日の6日間
- ・支援人員：1日あたり約10人 延べ約60人

イ 市内の全訪問介護サービス事業所（約50事業所）へ利用者の安否確認及び訪問介護サービス提供のため、訪問車両（社有車限定）へのガソリンの供給手配（市介護保険課と連携）

- ・実施内容：郡山市緊急車両として、1事業所2台までで1台あたり20ℓ
- ・実施日：1回目 平成23年3月18日、2回目 平成23年3月24日・25日

ウ 市内の訪問介護サービス事業所のうち、救援物資を希望する事業所（約40事業所）への食糧、介護用品（おむつ等）の配布

エ 本会ホームヘルプサービスセンターの利用者のうち、生活援助サービスにおいて家族対

7. 関係機関・各団体の活動

7. 関係機関・各団体の活動

応が困難な利用者へおにぎり(炊き出し)の配布

- ・対象者:一人暮らしの高齢者及び障がい者
- ・実施日:平成23年3月14日

6. 郡山医師会

(1) 郡山医師会災害医療救護対策本部の設置

震災直後に上記本部を郡山市医療介護病院に設置し、郡山市災害対策本部のある開成山野球場に設置された医務室へ医師を派遣しました。

3月14日の朝までは郡山市医療介護病院及び郡山市健康振興財団の医師と郡山市の保健師が24時間対応し、その後引き続き4月4日の朝まで星総合病院の医師と看護師が全面協力しました。さらにその後の1週間は、郡山市医療介護病院の看護師が昼間のみ対応し派遣を終了しました。



郡山医師会災害医療救護対策本部を設置

(2) 郡山市医療介護病院を臨時避難所に開放

地震発生直後から近隣の住民の方々が当院に避難され、おにぎりや毛布の提供を行いました。

(3) 入院患者の転院

市内2病院の機能喪失のため、入院患者を市内各病院等へ転院させました。

(4) 避難所(市の施設)への巡回診察

3月12日から、各避難所の近くの開業医を選任し、巡回診療を依頼しました。当初、約100か所の避難所を約60名の医師で巡回していましたが、6月末で全避難所が閉鎖となったため、巡回を終了しました。

(5) 避難所(県の施設)への巡回診察

3月23日から、主に相双地区からの避難者が入居している避難所への巡回診察を行いました。各担当病院を決め巡回診察を依頼しました。精神科、眼科の医師にも担当を決めて巡回を依頼しました。当初11か所の避難所を8病院に依頼して巡回していましたが、8月末で全避難所が閉鎖となったため、巡回を終了しました。

(6) 郡山市震災後子どもの心のケアプロジェクトチームの設置

<避難者を含めた郡山市の子どもたちの心のケア対策>

平成23年3月29日、郡山医師会、郡山市、郡山市教育委員会を柱に、助産師、保健師、保育士、臨床心理士、読み聞かせボランティアで立ち上げました。(詳細は76ページ参照)

(7) 放射線健康被害に関する研修会等

放射線の健康に与える影響と対策について理解を深めるため、研修会等を開催しました。

・平成23年3月19日「放射線障害について」

講師:財団法人厚生会仙台厚生病院放射線科 山口 慶一郎 先生

会場:郡山市医療介護病院

・平成23年5月25日「原発事故による放射線健康リスクについて」

講師:福島県放射線健康リスク管理アドバイザー

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科長 教授・医学博士 山下 俊一 先生

会場:郡山市医療介護病院

・平成23年9月16日

「園医・校医・かかりつけ医が心得ておくべき放射線被ばくの基礎知識」

講師:産業医科大学医学部放射線衛生学講座 岡崎 龍史 先生

会場:郡山市医療介護病院

・平成24年4月27日

「県民健康管理ファイルについて」

講師:福島県保健福祉部健康衛生総室 健康管理調査室 主幹 小谷 尚克 先生

「放射線健康リスクの考え方に差があるのはなぜか?」～今後の方向性を考えるうえで～

講師:福島県立医科大学医学部 放射線健康管理学講座 教授 大津留 晶 先生

会場:郡山市医療介護病院